

タイ・チェンライ県での研修が始まりました！

本校の課題研究グループのLABO4のメンバー7名がタイ・チェンライ県でボランティア研修を行います。期間は8月22日（土）から8月28日（金）です。LABO4のプロジェクトテーマは「途上国女性の社会進出課題」です。ミャンマーと国境を接しているチェンライには10を超える山岳少数民族が生活しています。タイ政府によって低地に強制移住させられたこれらの人々の生活には解決すべき課題がいくつもあります。今回の研修で私たちは現地の状況を学び、私たちに出来ることを考えます。

8月22日(土)・23日(日)、チェンライ到着と事前勉強会



【成田空港にて】



【チェンライ空港にて】

今回の研修は昭和女子大学の9名の学生の方たちと共同で行います。

学生全員が昭和女子大学でボランティア活動に取り組みコーディネーターとして活躍されています。

現地では色々なアドバイスを受けながら協同作業に取り組みます。

チェンライでお世話になる「ミラー財団」は山岳少数民族の支援に長い歴史と実績を持つタイ人によるNGOです。

バンコクで国内線に乗り換え、チェンライに到着しました。日本で行われていたボランティア大会に講師として出席していたカレン族の3名の方（ミラー財団のスタッフ）と同じ飛行機で入国しました。

ミラー財団の本拠地はチェンライ空港から車で数十分のところにあります。トラックで移動しました。



【財団の畑】



【ミラー財団の敷地の入り口】



【事前勉強会】

日本とは全く環境が異なります。蒸し暑いのにクーラーは無し、お風呂はなく年間通してシャワーは水だけという環境に生徒も最初は驚きました。しかしNGOで活躍しておられる日本人女性の方の「何事にも積極的に、ポジティブに考えて行動することが大切である」というお話に感銘を受け、2日目にはかなり環境にも慣れてきました。今日は山岳少数民族についてレクチャーを受けました。明日からホームステイをするアカ族について習慣や言葉を学びました。今後の活動が楽しみです。